

様式第6号(第6条関係)



2019年 4月 25日

(宛先) 安曇野市議会議員 小松洋一郎

会派名 日本共産党安曇野市議団

代表者氏名 猪狩 久美子

経理責任者氏名 臼井 泰彦

平成30年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

(単位:円)

項目	決算額	備考
政務活動費	360,000	120,000円×3人
合計	360,000	

支出の部

項目	決算額	備考
調査研究費	121,770	大崎市視察研修 交通費 104,370円 宿泊代 17,400円
研修費	180,900	多摩自治研究所研修 交通費 25,400円、宿泊代 8,100円 受講料及びテキスト代 57,400円 計 90,900円 第45回市町村議会研修 受講料 90,000円
広報費	57,330	会派広報紙の発行 (84,240円の内 57,330円を充当)
合計	360,000	

2 収入支出差引残高

0円

別紙

政務活動実施状況

活動名	大崎市視察研修	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	大崎市の「公共交通」「防災対策」「農業問題」について視察し、市政に反映させるため	
活動の概要	日時	2018年7月4日(水)～2018年7月5日(木)
	研修先・主催者等	大崎市役所 大崎市市民協働推進部まちづくり推進課、防災安全課、世界農業遺産推進課
	報告内容・実施したと。	公共交通・大崎市の公共交通の現状と課題、今後の方向。 防災対策・1978年以降の地震・豪雨被害とその対応。 ・自主防災組織の活性化等その後の対策 農業問題・世界農業遺産「大崎耕土」の認定の経緯と内容、今後の方向 ・農業振興（後継者等への支援、荒廃の農地対策、土地利用、農業振興と農林業祭り、学校給食と地産地消、有害鳥獣対策
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	公共交通・地域の特色をふまえつつ、鉄道を含めた公共交通全体を考えていく視点が大切である。 ・地域住民による公共交通課題の検討組織が必要である。 防災対策・デジタル防災行政無線だけでは、情報が行き渡らないため、個別受信機等の整備が必要だと思った。 ・自主防災組織等での実践的訓練や講習により、意識と実践力の向上が図られている。 農業問題・「大崎耕土」の世界農業遺産は、農業そのものの営みを生きた遺産として認定されている点で、安曇野市も農業遺産登録認定を目指しているので参考となる。「大崎耕土」を世界遺産認証とし、農産物を特化し、ブランド化、差別化を図る試みは参考になる。排水路を二重構造にし、雨水を蓄え使用する試みは、研究に値する。

別紙

政務活動実施状況

活動名	多摩自治研究所研修	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	市町村の財政分析の基礎を学び、市の財政に対する認識を深める。	
活動の概要	日時	2018年10月30日(火)～2018年10月31日(水)
	研修先・主催者等	都立多摩図書館 多摩住民自治研究所
	報告内容・実施したこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・決算情報をいかに予算審議と連動させるか ・市町村のふとところは一歳出の仕組みを考える ・様々な財政指標の見方・読み方・使い方 ・類似団体比較カードと財政状況資料集のイロハ ・地方交付税制度の基礎の基礎～臨時財政対策債にも触れて
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	<p>臨時財政対策債の二面性（国の交付税措置と地方自治体の借金）を踏まえた財政運営が必要である。また、国が抱える多額の借金から、満額臨時財政対策債に頼った財政運営は、満額補填されなくなる事態を考えなくてはならない。</p> <p>安曇野市の予算の歳入や歳出を経年的に見て、これまでと今後の方向とを、総合計画と財政を重ねて検討していく必要がある。</p>

備考 政務活動実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	第 45 回市町村議会議員研修	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・特別講演「議会改革『住民自治の根幹』としての議会力・議員力の発揮へ」（講師 寺島 渉）を聴き、議会力・議員力向上に資する。 ・「防災・減災」「アウトソーシング・水道」「高齢者医療福祉」について講義を聴き、市政に反映させるため。 	
活動の概要	日時	2018年11月12日(月)～2018年11月13日(火)
	研修先・主催者等	J A長野県ビル (株)自治研究社
	報告内容・実施したこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・特別講演「議会改革『住民自治の根幹』としての議会力・議員力の発揮へ」 講師 寺島 渉 ・「防災・減災」災害への備えに何が必要か ―予防・応急対応と復旧・復興・生活支援― 講師；塩崎賢明 ・「アウトソーシング・水道」自治体アウトソーシング・PFIと水道の民営化・広域化 講師；尾林芳匡 ・「高齢者医療福祉」介護保険・医療保険制度の現状と課題 講師；石川 満
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	<ul style="list-style-type: none"> ・特別講演…市民と議員との緊張関係が高まれば、議会と理事者側とのそれや、理事者と市民とのそれも高まる。それは、市政を大きく市民の立場に進めることになると思った。 ・「防災・減災」…避難所の設置基準に、国際基準「スフィア基準」（①尊厳のある生活への権利 ②人道援助を受ける権利 ③保護と安全への権利）がある。これに基づいた、事前設置計画や訓練がなされなければならない。 ・「アウトソーシング・水道」…公共サービスのアウトソーシングを考える視点（①専門性・科学性 ②人権保障と法令遵守 ③実質的な平等性 ④民主性 ⑤安定性が必要）をしっかり押さえていかななくてはならない。 ・「高齢者医療福祉」…年金を減らされている高齢者世帯が貯蓄を取り崩して日常生活に充てている実態、子育て世代の生活を肩代わりしている状況、診療報酬改定が、命が軽く扱われる内容など、問題が非常に大きい。

別紙

政務活動実施状況

活動名	日本共産党安曇野市議団ニュース発行	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	日本共産党安曇野市議団の議会活動を知らせる。	
活動の概要	日時	2018年4月20日発行 2018年7月20日発行 2018年10月20日発行
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	日本共産党安曇野市議団ニュースを発行し、配布した。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	日本共産党安曇野市議団ニュースを多くの人に読んでもらい、日本共産党安曇野市議団の活動と安曇野市政、安曇野市議会の様子を知ってもらうことができた。